

対称性と光機能

金属錯体の魅力の一つは、分子を対称性よく集積できる点にあります。本稿では、Al 二核三重らせん錯体を対象に、光励起直後に起こる対称性の破れと構造変化を、10 フェムト秒の超高速分光により調べた研究を紹介します。励起状態における分子の動きが、発光色やストークスシフト・項間交差といった光機能にどのように結びつくのかについて調べました。・・・